

交通インフラの整備が進展する県内では、高水準の企業立地が続いている。高付加価値分野を含めた幅広い投資をさらに取り込むべく、ハード・ソフト両面の環境整備を着実に進めていきたい。

千葉県では、圏央道や成田空港をはじめとする交通インフラ整備が着実に進んでいる。広域交通ネットワークは、物流の効率化や移動時間の短縮を通じて企業活動を支える重要な基盤となる。そのため、交通インフラの拡充は企業立地を後押しし、地域経済の活性化に寄与する。

千葉県の調査によると、25年の企業立地件数は80件、立地面積は134haとなった。年ごとの増減はあるものの、近年は高水準を維持している。千葉県の交通利便性の高さを背景に、企業立地は堅調に推移しているといえよう(図表1)。特に近年では、Eコマース市場の拡大や物流効率化ニーズの高まりから、高規格道路のインターチェンジ(IC)周辺で大型物流施設の開発が相次いでおり、全体を押し上げている(図表2)。

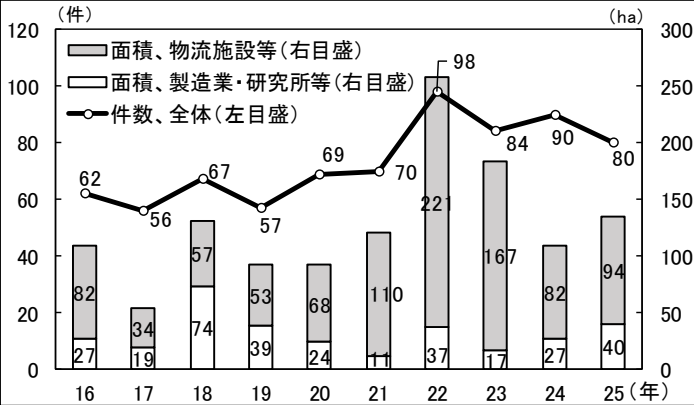
先行き、交通インフラ整備が進展していけば、県内のアクセス性が一段と向上し、企業の立地ニーズはさらに高まるとみられる。今後は物流施設に加え、研究・開発拠点や先端製造工場など、高い付加価値を生み出す施設の立地を呼び込んでいくことが重要だ。こうした企業立地が進めば、県内産業の高度化や良質な雇用の創出など、県内経済へのより大きな波及効果が期待できる。

高付加価値分野の企業立地を促進するためには、産業用地のストック不足を解消するとともに、企業ニーズに対応した受け皿の整備が欠かせない。十分な敷地規模に加え、大容量の電力や工業用水、通信インフラなど、高度な事業活動を支える基盤を備えた産業用地の供給が求められている。そうしたなか、県内では自治体と民間事業者が連携した大規模な産業用地の整備が進められている(図表3)。また、25年7月には国家戦略特区の対象区域が千葉市・成田市から県全域へ拡大されたことも、規制緩和や手続きの円滑化を通じて産業用地の開発後押し・質的改善につながるとみられる。

ハード面の整備と同時に重要なのは、立地後の企業活動に対するソフト面の支援策の充実である。人材の確保・育成に加えて、県内大学・研究機関との産学官連携、スタートアップ支援、GX・DXへの対応支援など、多様なニーズに応じたソフト面の支援体制を整備・拡充することにより、地域の企業の競争力向上や定着への寄与が期待される。

今後、交通インフラ整備の効果を最大限に生かし、高付加価値分野を含む幅広い企業投資を取り込むためには、産業用地の着実な拡充と質的向上とともに、人材の確保・育成や産学官連携を進めるなど、ハード・ソフトの両面から企業の立地環境を改善していくことが重要である。県内の関係者の前向きの取り組みが期待される。(竹津)

【図表1】千葉県の企業立地件数と面積



(出所) 千葉県HPのデータをもとにちばぎん総合研究所が作成

【図表2】高規格道路IC周辺における物流施設の主な建設プロジェクト

名称	内容	概要
ロジスタ松戸	外環「三郷南IC」周辺の大型物流施設の建設	阪急阪神不動産による開発。外環道「三郷南IC」から約3.5km。延床面積: 約13,600㎡。26年5月着工、27年2月竣工予定。
T-LOGI船橋南海神	京葉道路「船橋IC」周辺の冷凍冷蔵物流施設の建設	三井物産都市開発と東京建物による開発。京葉道路「船橋IC」から約0.6km。延床面積: 10,309㎡。26年2月に着工、27年10月の完成予定
WING NRT	東関東道「成田IC」周辺の大型物流施設の建設	ヒューリックと日本航空による開発。国内初となる航空貨物上屋と物流施設の一体型国際物流拠点。東関東道「成田IC」から約9km。延床面積: 約40万㎡。27年着工、29年完成予定
グッドマングループによる大規模物流パーク	圏央道「多古IC」隣接の大型物流施設の建設	成田空港隣接地での複合的な物流拠点の開発。圏央道「多古IC(建設中)」に直結。敷地面積: 約70万㎡。29年3月稼働開始予定
上三ヶ尾地区物流施設計画開発工事	常磐自動車道「柏IC」周辺の大型物流施設の建設	野田工業団地東側に2棟の物流施設を整備する。常磐道「柏IC」から約3km。土地面積: 12.3ha、工期は最大30年3月まで

(出所) 各種資料をもとにちばぎん総研が作成

【図表3】県内で進行する主な産業用地計画

名称	立地	概要	誘致想定業種
ネクストコア千葉生実(千葉市)	京葉道路「蘇我IC」より約2.5km	面積は17.2ha。27年度中に造成工事を完了し、分譲を開始予定	食品を中心とした製造・加工・研究開発施設
滝沢地区(東金市)	圏央道「東金IC」より約4km	面積は約28ha。27年度中に造成工事に着手し、29年度以降に分譲を開始予定	食品を中心とした製造業、物流業など
真名団地(茂原市)	圏央道「茂原長柄スマートIC」より約1km	面積は5.6ha以上。26年8月に事業者の公募開始、29年度に造成、31年度以降に建築工事を開始予定	半導体関連、健康・医療関連、電動車・蓄電池関連など
岩山地区(芝山町)	成田空港の南西側に近接	面積は15~20ha。27年度までに環境調査を完了し、以降に用地買収、造成などに着手予定	航空機関連、物流、精密機器、健康・医療関連、農業など
匠瑛IC周辺(匠瑛市)	銚子連絡道路「匠瑛IC」直結	面積は約15.2ha。28~29年度中に造成工事を完了予定	農林水産業、観光、航空機関連、製造業、物流業など

(出所) 各種資料をもとにちばぎん総研が作成